

第2回 幼保一元化城下地区協議会

と き：令和3年12月13日（月）午後7時00分～

と ころ：宍粟市役所 4階会議室

発言者	議題・発言内容
事務局	<p>開会</p> <p>本日は、それぞれお忙しい中、第2回となります幼保一元化城下地区の協議会に、ご案内をさせていただきましたところ、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。</p> <p>時間が定刻を過ぎましたので、ただいまから第2回宍粟市幼保一元化城下地区協議会を開会させていただきます。</p> <p>座って失礼いたします。この会議につきましては、スムーズな進行と、正確な会議記録を残すことを目的として、マイクシステムを使用させていただいております。発言いただく方は挙手をしていただきまして、司会者の指名を受けた後、スピーカー台の中心にある、銀色のスイッチを押していただいてから発言をしてください。発言が終わりましたら、スイッチを再び押してマイクを切ってください。ご協力をお願いいたします。</p> <p>次に、本日の会議の開催に当たっては、新型コロナウイルス、感染防止対策を徹底して進めたいと考えております。そこで本日の会議予定についてですが、おおむね2時間、午後9時頃までを目途に終了とさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。</p> <p>それではお手元の次第に沿って進めさせていただきます。</p> <p>2番、挨拶。教育長が挨拶を申し上げます。</p>
教育長	<p>それでは皆さん改めましてこんばんは。一言ご挨拶を申し上げます。</p> <p>今年も早いもので12月も半ばということで、皆様には、本当に年末に向けて、それぞれ何かとご多用の中、また昼間のお仕事で本当にお疲れの中、第2回目の幼保一元化城下地区協議会にご出席いただきまして、ありがとうございます。心からお礼申し上げます。</p> <p>前回、初回となりました11月25日の第1回は、どちらかという教育委員会からの候補案について、その提案説明に時間も費やしていただき、また皆様からの質疑ということが中心となりました。ご協議の時間が十分に取れなかったというふうに思います。申し訳ございませんでした。</p> <p>本日は、そういった意味では、皆様からいろんなご意見をいただく、そんな位置付けとさせていただきたいと思っております。</p> <p>どうか皆様には、義務教育、及び、その後の子どもたちの教育の基礎を培うものとして、3歳児からの子どもたちに対する教育、並びに0歳児からの保育を必要とする子どもに対する、保育を一体的に行い、子どもたちの健全な成長が図られるよう、その発達を支援するとともに、保護者の皆様方の、子育てを支援することを目的とした、城下地区のこども園の設置に向けて、それぞれの立場から、望ましい候補地につきまして、ご協議を賜ります</p>

	<p>ようお願いします、大変簡単ですが、開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。</p>
事務局	<p>次第3、報告事項。前回会議録の確認について、事務局より説明をさせていただきます。</p>
事務局	<p>前回、11月25日に城下ふれあいセンターで開催いたしました、第1回幼保一元化城下地区協議会の議事録につきましては、本日の協議会のご案内と一緒にご自宅の方へ送付をさせていただいております。その際、修正がある場合には、12月9日木曜日の午後5時までに、事務局へお知らせくださいとお願いをしておりましたが、修正の連絡はありませんでしたので、ここで前回会議録につきまして、ご承認をいただいたということで再度確認をさせていただきますと思いますが、いかがでしょうか。ご意見がありましたら教えてください。</p>
会場	<p>(意見なし)</p>
事務局	<p>はい。それではここで、前回会議録をご承認をいただきましたので、公式の会議録として保存をさせていただきますと共に、市のホームページにおいて公開をさせていただきたいと考えております。</p> <p>なお、議事録の公開に当たりましては、発言者の欄につきましては、個人が特定されますので、会長、副会長、そして委員、私どもは事務局として、個人が特定されないように修正を行いまして、公表をさせていただきますので、その点ご了承をください。事務局からは以上です。</p>
事務局	<p>続きまして(2)通学路の安全対策について。</p> <p>事務局より、前回の第1回協議会も踏まえた上で、説明をさせていただきます。第1回の資料が手元に用意できるようであれば、手元に添えていただきまして、説明をお聞きいただきたいと思います。</p>
事務局	<p>前回の協議会におきまして、通学路の安全対策として、他市等で先行した取組の事例があれば教えて欲しいというご意見がございました。</p> <p>事務局で、何か参考になる事例がないか、探してみましたが、なかなか良い例が見つかりませんでした。</p> <p>私なりに考えてみますと、これから候補地を新しく選定して、用地を購入する訳ですから、候補地の選定には、既に安全性がある程度確保された用地、または、確保する目的が立ったことを前提に選定をされているため、協議過程が課題になって公表されている例というのは少ないように感じております。</p> <p>そこで、今回は、どんな安全対策が考えられるかについて、ごく一般的な事例ですが、ご紹介をさせていただきたいと思います。</p> <p>スライドの準備をお願いします。</p>

事務局

通学路の安全対策の実施例の紹介をさせていただきます。

まず、一般的ですがガードレールを設置する場合、これが上側になります。この歩道のところにガードレールを設置したという例になります。それから、境界ブロックによる歩道と車道の分離ということで、これは下側の、ここに歩道を確保したということになります。続きまして、カラー舗装による、安全、路面表示ということで、よくあると思うんですが緑色に歩道のところを塗った例です。それから、続きまして歩道の整備ということで、このところに歩道を設置するというのが一般的に考えられます。

続きまして、市内のこども園の状況をお伝えします。こちらは千種町のちくさ杉の子こども園が、ここにありまして、千種小学校がここにありません。この商店街の道を赤で記しておりますが、保護者の方が車で送迎をされ、このように送って来られます。それで、この小学校の前の道につきましては、このように歩道が整備されております。

続きまして、戸原こども園の例です。こちらについてはここが戸原小学校で、ここが戸原こども園です。保護者の方はこの県道を通って、市道の道を送迎されるルートになりますが、同じくこの小学校の前のところについても、歩道が設置されています。

それで、もし、今回、城下幼稚園周辺の案になった場合に、前回の協議会で報告した城下小学校と山崎南中学校の登校状況について、もう一度確認をさせていただきたいと思います。特に朝の登校についてですが、この図なんですけれども、前回の資料に付けさせていただいた資料になります。ここが城下幼稚園になります。ここが山崎南中学校と、城下小学校になります。

山崎南中学校は、全ての生徒がこの正門から登下校をします。南から来る生徒はこの道を通ります。この交差点を大体60人の自転車が通ります。北から来る生徒は、この交差点を必ず通ります。74人が通ります。部活動がありましたら、朝7時には入るので、特に問題はないかもしれませんが、部活動がなかったり、3年生については、7時半から8時の登校ということで、ここへ車が入ってくると、中学生の自転車にも影響があります。

次に、城下小学校ですが、南から来る登校班は、学校の南から進入するので、幼稚園とは少し離れるので、北側の方だけまず見ていただきたいと思います。自治会毎の児童数と、登下校のルートを、小学校で教えていただきまして、東側から来る児童は、この交差点のところから、千本屋の集落の中を通る訳なんですけど、約60人の児童がここを通ります。

それから北から来る児童は、ここを通過して菅野川沿いを歩いて行きますが、千金橋のところ、この交差点を約77人が渡ることになります。

また、西の北の方から来られる児童は、この交差点に32人が、こういうルートで小学校に通っている状況です。

道が色々進入することができるので、車がどこから入ってくるのかという想定が、なかなか難しいところではあります。それで、考えますのは、ここに城下幼稚園があります。1つの例として個人さんの土地になりますので勝手に購入とかいうことは言えないんですが、想定されるとすれば、安全性の確保をするために、この部分を今ある農道から約1m拡張しまして、さ

事務局	<p>らに歩道を2m、合計3m50cmの拡幅が必要かなと考えております。そうしましても、ここから進入をして、こども園で子どもを降ろしてまた戻るといことで、交互通行となりますので、それで安全かということになりますと、まだこちらの農道も拡幅が必要かなというようになってきますが、こちらの農道も、農道の東側に、電柱が五本立っておりまして、西側には水路がありますので、それを移設して広げるとなりますと、今こちらで試算しているものよりも、またさらにお金がかかってしまうということになります。</p> <p>またこの部分については、家屋が両側にありますので、この部分を広げるといのは、実質的に難しいのかなと考えます。またこの出口のところも、家がぎりぎりまであるので、ちょっと見通しが悪いといことで、この交差点もちょっと危ないのではないかというふうに考えております。その道を広げたイメージなんですけど、ここが千金橋から来たところで、道を広げて歩道をつける。それで、その南側ですが、道が広くなったり狭くなったりするんですが、そこを真っすぐにして歩道をつける。こちらも同じです。</p> <p>田んぼがあるので、ある程度出入口は、車が入るようにはしないとけないと思うんですけども、これまで農道でしたので、軽トラックをここに横付けしていたことが出来ないという状況になります。</p> <p>一方、城東保育所の状況を見ていただきますと、ここが城東保育所になっています。現在、小学生が朝7時半から7時40分の間に、野自治会の児童8名が、ここを通るようになります。それで、船元、下広瀬の児童は、この県道を通りますので県道は歩道が付いている状況です。次に、送迎の方ですが、河東や船元の方は、この緑の道を通って送って来られるといことが、大体、現状で、14台分ぐらいかなと考えられます。それから、北から来る車はこのオレンジの部分で、こういうルートになるのかなと思います。それから西側から来る車が、御名であったり、金谷であったり、段の方は、この赤いルートで来られるのかな。また、南の方から、来られる方は、上比地、中比地、下比地の方から来られる方は、このルートを来て入っていきます。それで、送られましたら、南へ下って、左右へ帰っていくといことが想定されるんですけども、こちらについては、この進入する道自体は、今現状、狭いんですけども、小学生がたくさんこの道を歩いているといことが想定はされないので、車対車といことで、そこは、一定のルールを作ることので安全性が確保できるのかなといことを考えております。道の安全性についての説明は以上とさせていただきます。</p> <p>はい。ご質問等につきましては、後で一括して受けることにしまして、私の方から、ここでもう一度なんですけれども、城下幼稚園周辺の農地の状況について確認をさせていただきます。先ほどのスライドで、城下幼稚園周辺の農地です。前回の協議会で、圃場整備田の農地転用手続について時間がかかるということについて、補足をさせていただいたところですが、ここでもう1回補足をさせていただきたいと思ひます。</p> <p>この資料を見ていただきますと、水色に着色しているところなんですけれども、前回は、圃場整備田というようなことで説明をさせていただいており</p>
-----	---

	<p>ましたが、実は水色に着色しているところが、ただの圃場整備田ではなくて、農業振興地域整備計画におきまして、農用地区域として指定をされた区域になります。ここで、この農地をこども園に転用するためには、事前にこの指定を解除する必要があります、この場合、解除の手續に約6か月の時間を要します。これに加えて、前回説明させていただいたように通常の農地転用ということで、これが3000平方メートルを超える場合には、県の審査となりますので、農地転用申請から3か月から4か月ぐらい許可を取るのにかかります。</p> <p>仮に、すんなり農地の所有者の同意が得られたとしても、そこから転用の許可を得るためには、手續として、10か月から1年ぐらいの時間が必要だというふうに考えておきまして、こんな理由から、今のところ、城下幼稚園周辺を候補地とする場合には、この農地ではなく、現在の城下幼稚園の敷地を活用することを基本として考えていることについて、前回、ご説明をさせていただいておりますので、ここでもう一度補足をさせていただきます。</p> <p>次に、一方の城東保育所周辺です。同じ図なんですけれども、この周辺には水色の区域がありません。同じ農地であるんですけれども、こちらの方は、同じ農地でも、比較的の手續にかかる時間が短縮できるというふうに考えているところであります。事務局からの報告は以上となります。</p>
事務局	<p>開会から始まりまして、第1回協議会を受けて、補足の説明、また追加の説明を事務局からさせていただきました。次第3番、報告事項の2の通学路の安全対策について等のところであります。</p> <p>この後、4番の協議事項という項目に移らせていただいて、この後の進行につきましては、意見交換も含めまして、会長に進めていただきたいと思います。</p>
委員	<p>今のところで質問とか受け付けてくれないんですか。でないと、分からないじゃないですか。そんなに早く行かれると。</p>
事務局	<p>それでは、協議事項というところになるんですけれども、今、委員の方から質問が、先に確認したいということがありましたので、会長進行のもとで、質問をいただいたり、事務局から説明をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。</p>
会長	<p>たぶん新たな質問等が出てくると思うんですけど、一応スタートさせてもらってよろしいですか。</p> <p>それでは、今、ご指名がありましたので、受けて、会議を始めていきたいと思うんですけども、改めまして皆さんこんばんは。</p> <p>本日は2回目ですので、いよいよ意見交換、討議をしていただきますが、そういう委員会で、非常に何とも進むのに、ドキドキするような状況で、この会長に、仰せつかっている訳ですけども、それぞれの考えに基づいて、意見交換をこれからしていただく訳ですから、意見の対立は当然あるかと思えます。ただ、後々遺恨を残すようなことなく、城下は一つという気持ち</p>

委員	<p>を根底に持っていただいて、真摯で、穏やかな意見交換を切にお願いしまして最初の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは座って進行をさせていただきます。</p> <p>先程、事務局から確認があったんですけど、協議に入る前に、改めて確認しておきたいと思います。本日のこの協議会、特に、保護者の委員の皆さんには、まさに子育て中の方々ばかりですので、2時間を目途に、9時には閉会挨拶が出来て、各家庭に帰っていただけるようにしたいと思いますので、ご了承とご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>それと、ちょっと長くなるんですけど、さっき資料を配っていただいたんですけど、この場でそもそも論を論じるのは非常に蛇足かもしれないんですけども、幼稚園、保育園、こども園の違いについて少し確認しておきたいと思います。</p> <p>私の認識で申し上げますから、間違っているところを後ほど、事務局の方からも訂正をお願いしたいと思います。</p> <p>城下地区には、くりのみ保育園、段ちびっこえん、城東保育所、ここで保育が行われています。つまり、0歳児から5歳児までが通園し、月曜日から土曜日まで午前、午後の保育ということです。</p> <p>それから、山崎・城下幼稚園は、4、5歳児が通園して、月曜日から金曜日まで、おおむね午前、午後にまたがる場合もあるんですけども、幼児教育が行われている。という4園があります。</p> <p>それがこども園になると、幼稚園部では、4、5歳児にプラス3歳児まで午前中幼児教育が行われ、それから就労の関係があるんですけど、就労していなければそこで、幼稚園部のみで、子どもさんは幼稚園部所属ということで帰られる訳ですけども、希望があれば、午後も保育園部で保育を受けることができるというふうに認識しているんですけど、違ってたら教えてください。また、保育園部を希望すれば、0歳児から5歳児まで、午前午後ともに保育が受けられる。通園曜日は、月曜日から土曜日、幼稚園部だけの希望の場合は、月曜日から金曜日、そして、民営か公立かについては、現在、くりのみ保育園、段ちびっこえんが、社会福祉法人の民営で、城東保育所と山崎・城下幼稚園が公立である訳ですけども、今回、このこども園については、市の教育委員会としては、民営で運営されることを第一義として、募集をかけられることになっている。というふうな違いと認識を確認したんですけど、また後から訂正なり補足があったらお願いします。</p> <p>こういうことで、今日の会議はいよいよ意見交換に入っていきたいと思います。今日は、傍聴の方が居られませんのでこのまま会議に入ります。</p> <p>既に委員から質問があった訳ですけども、今日、まず1回目の会議を受けて、疑問に思われたこと、あるいは先ほどの事務局の説明を通して、疑問に思われた、今既に出ていますけれども、そういう質問からまずスタートしていきたいと思いますので、委員のまず質問を受けて、その後また続きで質問を受けたいと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>すいません、先ほどの、城下幼稚園の周辺の登下校の図を、ちょっと出していただきたいんですけども、ここです、ちょっと抜けているところ</p>
----	--

	<p>がありまして、城下幼稚園から向かって左ですね。そこを金谷自治会の子が通ってきます。そこが抜けているんです。小学生の児童が32人歩いて来るっていうのは、金谷の下の住宅とか古墳の近所の子だと思うんですが、30人居るのかどうかちょっと疑問なんです、そこが一つあります。</p> <p>それから、城東の方を出してください。それで、先ほどの説明で、歩いている子はこの図だと、野自治会の子が8人歩いているような感じで説明されましたよね。それで下広瀬や船元自治会の子は、今黄色とか青の通りですよ。大きな通りですよ。そこを歩いて来るから、関係ないんだみたいな話だったけど、ちょうど三つの色が重なった所。そこを渡らなきゃならないじゃないですか西側歩いてても。だから関係ないことないですよ。</p> <p>それから、そこの東側を歩いてくる子もいるんですよ。知ってます？その道の東側の歩道を歩いてくる子もいるんです。数名ですけど。だからそれを抜かすと、ちょっと、この説明だと城東の方が全然安全じゃんみたいな感じに映るじゃないですか。だからそれはちょっと公平性に欠けるのかなと思います。そこが1番大変なんで、朝、駐在さんも立ってもらっているし、見守り隊の人も立ってもらっています。そこが1番やっぱり信号のない交差点なんで、僕もちょうどその時間よく通るので、何人歩いているとかよく見るんですけど、そこがやっぱり1番、子どもたちは歩道を歩いているけれども、やっぱり言われたようにあそこ、入る道すごい細いので、非常に危ないなと思っています。そこだけちょっと、抜けてると思います。それから進入路ですよ3本交わっているところ、先程の説明の中で言われたように非常に細い道路で、家も角に立っているんで、そこにそれだけの車が来るっていうのはやっぱり非常に、怖いなと思って見ているんですけど、ちょっと見通しも悪かったりするので、角に家があるんで、その辺あげないと駄目なのかなと思います。以上です。質問というか、ちょっとだけ補足をお願いします。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。確かにその通りだと思いますので、資料の訂正をさせていただいて、記録の方も残させていただきます。</p> <p>また、どちらになっても、こども園を整備する時には、考えさせていただきますので、ありがとうございます。</p>
会長	<p>委員よろしいですか。</p> <p>その他、今日の、事務局の説明についてでもよろしいですし、1回目のところ、質問し損なったようなことがありましたら、まず、質問を受けたいと思います。どなたからでもよろしいので、ありましたらお願いします。</p>
委員	<p>すいません。前回の資料で、小中学校との連携の用紙が1枚入ってました。その中で、城下幼稚園は小学校と3回、中学校と6回、城東保育所は小学校なし、中学校が2回、と書いてあるけど、これは、こども園が城東のところに建った時は、別にそれは関係なしやね。1号やから小学校に行っていないとかという違いの認識でよろしいですか。</p>

事務局	<p>はい。小学校との連携のことにつきまして、ご質問がありました。実は幼保連携型認定こども園教育保育要領という、国が定めた指針があるんですけども、その中でも、園児の発達や学びの連続性を確保する観点から、学校との円滑な接続ということが規定されておまして、宍粟市でも、全ての園所で、連携に努めているところではあるんですけども、どうしても、小学校側の方からすると、近くの幼稚園ということで、それで、前回、資料に出ささせていただいたように、幼稚園とは明確に連携の記録があるんですけども、保育所とは少し連携が薄いような実績になっております。</p> <p>ただ、私たちがこども園を作るにあたっては、新しいこども園では、どこになったとしても、城下小学校区のこども園として、城下小学校を中心とした、しっかりとした連携事業に取り組みたいというふうに考えておまして、ここで、参考として、他のこども園の事例をご紹介させていただきたいと思っております。スライドをご覧ください。</p> <p>これは戸原こども園と戸原小学校の交流になります。</p> <p>次に、はりま一宮こども園とはりま一宮小学校の交流です。</p> <p>一宮北こども園と一宮北小学校の交流になります。</p> <p>このように、今回、皆さんでご相談をしていただく、城下地区のこども園につきましては、城下地区のこども園となりますので、園区がありませんので、そのこども園の子どもが全員城下小学校に上がるということではないんですけども、公立の小学校、山崎小学校でも、城下小学校でも、戸原小学校でも、同じ、教育委員会が管理をします公立の小学校ですので、まずは、園区内にあります城下小学校との間で、この城下のこども園の子どもについては、しっかりと交流が図れるように、それは、工夫を前提として、取り組みをさせていただきますので、前回の資料は、今のあくまで実績、参考程度ということで、こども園の整備にあたりましてはしっかりと、他のこども園と同じように考えてまいりますので、その点、ご理解をお願いしたいと思います。</p>
会長	<p>よろしいですか。その他、質問がありましたらお願いします。</p>
委員	<p>別の角度からちょっと質問したいなと思うんですが、今、ちくさ杉の子こども園さん、戸原こども園さん、一宮も北と南ということで、先発してやられているこども園さんが当然あってですね、今、事例みたいな形でお聞きしましたが、今、定員と実働というのとは一体どういうふうになっているのか、その辺のことをちょっとお聞かせいただければありがたいです。</p> <p>例えば、戸原こども園さんは、前回も80名の方が来られてるというふうにお聞きしてます。80名の方が来られていますけれども、実際の定員というのとは何名のこども園になる訳なんですか。</p>
事務局	<p>失礼します。戸原こども園なんですけど、本当に今、年度の途中で入所される方が結構増えてまして。公立の園ですので、しっかり受け止めるという中で定員管理を行っておりまして、今、次年度へ向けて子どもの募集を毎年するんですけども、その受付状況を見ながら、定員の改正というのも流動</p>

委員	<p>的に行わせていただいております。</p> <p>現在、戸原こども園の定員は87人で、在籍する子どもは81人、そういう状況であります。</p> <p>よろしいですか。すいません。城下のこども園ということですね100名を予定しているということで、この話が始まってますけれども、100名の定員ということは別段問題ないというふうに思われているということですのでよろしいですか。</p>
事務局	<p>はい。先ほど会長さんの方から、民間での運営の委託みたいなお話があったと思うんですけども、我々が考えておりますのは、今、少子化でこれから子どもが減っていく中で、新しいこども園を丸っきり、新設をするというのは、非常に難しいだろうなというふうに思っています。というのは、待機児童は今、宍粟市にはありませんし、年度の途中で0歳児を預けたいと思っても、なかなか預けにくい環境ではあるんですけども、丸っきり100人っていうような子どもさんを、新しく受け入れる施設が必要な状況ではないんです。</p> <p>そのためにはどうするかというと、既存の園と園が、この幼保一元化によりまして、認定こども園に移行することで、そこにいらっしゃる園児を対象として、こども園というものを、整備していきたいというふうに思っていますので、100人規模というのは、兵庫県の県条例で、認定こども園の規格については、1教室53平方メートル以上を確保するというような、県の条例の規定がございまして、この条例の規定に適合するのが、戸原こども園であります。戸原こども園の規模の園舎を構えますと、必然的に53平方メートルというのは、今度は、1人当たりの子どもの面積で割り戻すと、26人が1教室に入る広さになりますので、1学年が26人っていうことを前提に考えて、割り戻してくると、最大で100人ぐらいまでは、戸原のこども園の園舎で受入れが可能ということで、100人規模ということを中心に協議をさせていただいているところです。それで、ここの人数がいっぱいになる子どもがいるかどうかというのは今後、運営法人を募集して、運営者が見つかるかどうかというところにも影響があります。一方で公立としては、城東保育所を考えておりますので、城東保育所の子どもさんについては、今55人在籍しておりますので、これプラス、参加をしていただける法人の子どもさんというところで、もう十分その100名っていうのは、充足できるというふうに考えております。</p>
会長	<p>よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>立て続けにすみません。この質問をしているのがですね、実はそのアンケートの自由記載欄というところを詳しく読むとですね、割と場所は問題でないという方が結構いらっやまして、最後の25件のところはですね、場所は問題でないように感じています。安全性絶対。保育の中身。保育の充実を望んでらっしゃるということ。それが宍粟市の子育て環境について、さらによりよい形になることを楽しみにしてますっていう、25名ということなんで</p>

	<p>この中でいうと、最大多数ではあるんですけども、そういうことですので安全が確保出来ているかどうか。このことが1番の問題かなとは思いますが、望まれていることは、この幼保一元化ですね、子どもさん1人の面積とかですね、僕は、すいません城東保育所の環境があまりにも過密過ぎるというのを見ているんですね、余りにちょっとそういう意味では、あれは改善せないかんのじゃないかというふうに思っている部分があるので、余計それを思うんですけども、それだけの広い場所ですね、伸び伸びと子育てをしていただきたいし、またそのための場所はどこが1番いいのかっていうことで、この会があるのではないかと。言えば、第3の候補っていうのは今ないですけども、二つの候補地っていう形ですが、本当の意味でいうと、広々とですね伸び伸びと、建設が出来てですね、安全性も確保出来て、新たな色々なこの取組をですね、この幼保一元化、それも城下地区っていうことで言うと、今、人口的には増えているところだと思います。</p> <p>そういうことかというと、ますますこの施設がですね、子育てのために重要になってくるというふうに思っています。そのために、自由欄のところですね、場所は関係なくっていうところを、但し、その安全性ということと、それにプラス利便性ということになるんだろうと思いますけれども、その部分をしっかりと捉えるべきじゃないかというふうに思います。</p>
会長	はい。事務局どうぞ。
事務局	はい。私どももこのアンケートの読み方としまして、おっしゃるとおり、安全性の確保というのを大前提に、進めていく必要があるというふうに考えているところであります。いずれの候補地になったとしても、こども園を運営する、環境を整える際には、安全性の確保ということが、教育委員会としては大前提の話だというふうに考えておりますので、そこは、配慮しながら進めさせていただきたいと思えます。
会長	はい。どうぞ。
委員	<p>すいません。前回の質問の通学路の安全対策について、たくさんの写真とともにありがとうございます。</p> <p>その中でちょっと、実際に、今現在通わせている保護者の立場から、ちょっと今参加されている皆さんにお伺いしたいんですが、皆さんが実際に、それぞれの園に子どもたちを送り届ける時間帯、それが多くなって思われる時間帯について、ちょっと教えていただけますか。例えば、城下幼稚園さんだったら何時ぐらいとか。ちなみになんですけど、保育園では、大体今、7時40分ぐらいに私、到着しているんです。その時点でくりのみ保育園の定員は80人だと思うんですけど、実際に来ている児童は10人に満たない状態です。それで、1番多いのが8時20分から8時30分、ここに皆さん、どどどどと、保育園さん、8時半までに入ってきてねっていう感じなので、本当に8時半前が1番多い状態なので、もし今日のご説明の中で8時までに中学生なり小学生なりが、皆さん登校が済んでいるのであれば、何か一つ、安全性の確保</p>

	<p>ってというのは、少しくリアに近づくのかなと思ったり、ただ、ごめんなさい他の園の皆さんの状況が分からないので、もしお分りの範囲で教えていただけたら、ちょっと今後の参考にさせていただきます。お願いします。</p>
会長	<p>これは保護者代表の方々に答えていただく方が、事務局で把握出来ていれば、事務局が答えていただいてもいいんですけども、どうですか。聞く方がよろしいね。それでは、段ちびっこえんさんの状況はどうですか。</p>
委員	<p>はい。私は、フルタイムで勤務しております、朝は8時前に送っています。私もバタバタして毎朝送っている、あとコロナの感染予防のために、2、3年ほど前は、園の中に入って、テラスで子どもを預けるといってお願ひしていたんですけど、今は玄関で先生が待っていて、そこで預けているので、中の様子が全く見えなくて、ちょっとどのぐらいの方が来られてるとかっていうのは分からないんですけど、やっぱり、何となくの感じでは、8時半、8時20分とかに来られるのかなあとと思います。帰宅の方も6時ぐらいに迎えに行っている、もう最後の最後になっていて、それもまた玄関での受渡しなので、分からなくて申し訳ないんですけども、すいません。以上です。</p>
会長	<p>次のご意見はどうですか。</p>
委員	<p>はい。そうですね僕自身は8時過ぎぐらいが多くて、皆さんと一緒に、基本玄関なんですけど、小さい子どもがいるところは結構奥の方まで、入らせていただいて先生に引き渡すっていう形なので、その時に子どもさんの状況は見えるんですけど、8時過ぎぐらいにやっぱり、その先ほどのフルタイムで出勤される方とかが早くに預けられて、ちょっと余裕のある方は8時15分から30分前後ぐらいの方が多のかなという印象です。以上です。</p>
会長	<p>次の方どうですか。</p>
委員	<p>車で来られる方は、8時過ぎぐらいから8時半までに入ってくれということなんで8時半までに送って来られていると思います。あと、全園児が20人、23人程なんですけど、その内の11人、12人は、スクールバスで迎えに来てもらって、8時半頃に園に到着するような感じになってますので、実際の車の送迎はそんなに多くないんじゃないかなと思います。</p>
会長	<p>今、そういう状況みたいなんですけどよろしいですか。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p>
会長	<p>はい。どうぞ事務局。</p>
事務局	<p>予め、私どもも、この候補地の比較をするにあたりましては、城東保育所</p>

	<p>と、段ちびっこえんさん、それからくりのみ保育園さんの方に、何時の時間帯が多いでしょうというようなことをお伺いしております、平均なんですけれども、先ほどのご意見と全く同じで、8時から8時半っていう時間帯で、大体全体の6割の方が登園をされておまして、7時半から8時の間が2割、それから、8時半から9時の間が、2割には満たないんですけど2割弱というようなところで、全体の登園状況ということは把握をさせていただいております。</p>
会長	<p>多分それが安全性に関わることになると思うんですけども、よろしいですか。他ございませんか。まず、ご質問の続きですけど、はいどうぞ。</p>
委員	<p>先ほど、お話ししていただいた中に、現在ある保育園とか、そういう園と園が統合する場合もあると、そういうことをおっしゃったんですけど、それはどういうことですかね。</p>
会長	<p>事務局。</p>
事務局	<p>はい。今回の城下地区でのこども園っていうことで、私たち教育委員会が管理運営しております城下幼稚園と、城東保育所については、幼保一元化でもってこども園への移行を考えております。それで、ここの運営主体につきまして、市の幼保一元化推進計画の中では、少子化によって、子どもの減少が見込まれますので、将来的にも、持続可能な園を運営するために、運営をしていただける運営主体を、公募によりまして募集をさせていただきます。それで、ここへ参加をしようという法人が現れれば、先ほど申し上げました公立の園と、民間の園との統合という形になります。それから、見つからないということになれば、最終的には、公立での運営というのも検討をさせていただくということで、協議を前提としておりますので、その点は、ご理解をお願いしたいと思います。</p>
会長	<p>よろしいでしょうか。山崎・城下幼稚園が公立、城東保育所も公立であるけれども、どちらにするにしても、こども園としては、まず第一には民営で、社会福祉法人が運営するという形になるということをご理解いただけますね。はい。他、質問等ありますか。もう大体、疑問に思われること、出尽くしたでしょうか。会議が始まって1時間が経ちました。9時閉会予定までちょうど今から1時間の意見交換になりますが、教育委員会の方が、次第としていただいている中に、議題として6項目、候補地の検討についての、その他を含めれば7つの視点をもとに、何からでもよろしいですので、それぞれご意見を出していただくということでよろしく願います。どなたからでもどうぞ。</p>
委員	<p>この中の小中学校との連携なんですけど、今、城下幼稚園が建っている場所から中学校が見えるじゃないですか。中学校の3年生とかと触れ合いますよね。だから、うちの1番下の娘も今21歳なんですけど、この時、結構、や</p>

	<p>んちゃな男の子が多かったんです。ところが、幼稚園児と触れ合って、ペアを組んで遊んでね、するじゃないですか、やっぱりそういう子って割と寂しかったりするんで、小さい子と触れ合う機会もないので、その後ですね、やっぱり休み時間に廊下通って「おーい」ってやる訳ですよ。だから、「お兄ちゃん」って手を振ってね、やっぱりすごくいい関係が出来ているっていうのが、あれが1番、中学校と幼稚園の触れ合う連携をした1番良いことで、やっぱりその小さい子を愛しむと、そういう心も、忘れていた心があの子らにも出てくるし、その小さい幼稚園児の子は、中学生を見て格好いいなあっていう感じでやっぱり見ているんですよね日頃からずっと。だからあそのフェンスを切って行き来できるようにして、ってやると小学校が何やわしら除け者かいみたいな話もあったんです。</p> <p>初めの頃は、中学校としか連携してなかったから。でも、それまで連携を取るまでは、同じ敷地、隣合ってもやっぱり職員の交流もなかったと。朝、「おはようございます。」とは言っても、中学校の先生は中学校の先生、幼稚園の先生は幼稚園の先生だったのが、やっぱり連携を取れるようになったっていうのが、非常にずっと見てきて本当に良いことだなと思うんです。だから、出来たらそういう子どもの連携を取るっていうのは、そういうところへ良い情操教育とかになると思うんで、だから出来たら、近所の方が交流しやすいんじゃないかなとは思っています。確かにバスで来たらそれは出来ます。でも、バスで来なきゃならないんで、歩いて行ける範囲っていうのは非常に大きいのかなと思うんです。ですからこの連携っていうのがただ単に言葉だけの連携じゃなくて、本当に子どもがやっぱり顔つきが変わってくるので、そこは考えていただきたいなと思います。</p>
会長	<p>はい。ありがとうございます。事務局お願いします。</p>
事務局	<p>はい。ありがとうございます。確かに、小学校と園との交流については、先ほどもちょっと触れましたけど国の教育要領の中でもそういう効果についてはうたわれていて、今、城下幼稚園では、城下小学校とそういう関係性の構築が続いてきたっていうところは本当に大事なことだというふうに思います。ただ、我々事務局としては、先ほどもあった安全性、今日も次第に上げているんですけど、6項目ですね。こういった中で、確かに小中学校との連携の部分については、立地条件としては隣にあった方がいいのは、もう本当に否定もしませんしそのとおりだと思うんですけども、それと比較しても、先ほどの安全性の確保とか、他の項目の部分で、我々としては、ご提案のように、城東保育所周辺でというようなことを考えさせていただいた経緯がございますので、その点は、ご理解をいただけたらなというふうに思っております。</p>
委員	<p>いや、そうおっしゃることはもうずっと分かってるんですけど、でも利便性ももちろん大事だし安全性ももちろん大事なんですけど、1回目の資料で6項目のところを見ても、正直、城東保育所の付近、城下幼稚園の付近で、そんなに差がないと思うんですよ。もちろん、今園がある訳ですから、当</p>

	<p>然、安全性とかそういうこともある程度確保出来ているから園がある訳であって、特別にこっちが優れているとかないと思うんですけど、強いて言うなら例えば連携を取りやすいのは城下幼稚園の方が取りやすいよとか、城東保育所の方が、多少、登園とかの安全性については、確保出来やすいのかなっていうのはあると思うんですけど、じゃあどっちがどっちってなったら、多分困ると思うんですよ。それをこの会で決めてくださいっていうのは、結構皆さんへの負担もあると思うんですよ。おまえが決めたんかみたいな話になるとやっぱりプレッシャーもあると思うんですけど、だから、本当にどっちかがこうであれば、いやそらそうやって、みんなの意見もまとまりやすいと思うんですけど、なかなか微妙なラインでしょ。正直な話、書いてあるけれども、どっちに転んでもおかしくないような条件なんで、だから僕は冷静に考えて本当にどっちに転んでもおかしくないなと思ってるんです。初めの話では、どっちでもええっていう話だったんですよ。城下地区の自治会が、ちょうど総会があるから聞いてもらえませんかという話だったんですよ。だからもうそれで、どっちが多いかになったら、もうそれでしゃんしゃんでええやん。という話だったんですよ。本当は、連合自治会がそれを音頭取っていただければ、非常にありがたかったけど、その時は、いや私たちはしないっていうことだったので、何とか3月の総会でやってもらえませんかと言ったらコロナもあったんで、なかなか総会が出来なかったりしました。だから、これを14人で決めろというのは結構僕は負担がある、プレッシャーがあることだなあとって、どうにかならないかなあとは思ってるんですけど、何かいい案があれば皆さんよろしくお願いします。</p>
<p>会長</p>	<p>今、委員対事務局みたいな形で意見交換が行われていますが、基本的にこの時間、委員同士の意見交換を主として、進めていきたいと思ってるんです。今のご意見に対して、こうしてこうや。対立の意見なり、同調の意見、色んなことをそれぞれ出していただく中で着地点を見つけていければなと思うんで、委員の皆さんそれぞれ思いの丈を出していただくのがまず第1番かなと思いますので、よろしくお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>ありがとうございます。先ほどのお話にもあったみたいに多分それぞれ皆さん思いが色々あると思うので、やっぱり城東保育所の老朽化が激しいというところもあって、早くしてほしいというところもありますし、先ほど他の委員さんが言われた安全性というところ、建物自体の安全性はどちらに建てるにしても、多分しっかりとしたものを建ててくださるとは思うので、そうになったらやっぱり安全性とか、早さとか、あとは交通の利便性とかっていうところが僕は思いがあるので、もしよかったら皆さん一人一人に意見を、順番に回していく方が、正直意見が出るのじゃないかなと。あと多分、ここで決めてもそれが最終決定ではないと、多分1回目の時には言うてくださったので、それを参考に決めてくださるということだと思うので、多分いろんな意見がそっちの方が出るとかなあと思うので、いかがでしょうか。</p>
<p>会長</p>	<p>進行のまずさであれですけども、とにかく自主的に意見をまず委員の皆</p>

	<p>さんに出していただいて、なおその上で、もしかしたら指名をさせていただくということで、進めたいと思います。了解していただけますか。</p>
委員	<p>はい。分かりました。ありがとうございます。</p>
会長	<p>それでは、意見をお願いします。委員。</p>
委員	<p>すいません。私もずっとこの間書類を見させてもらって、考えたんですけど、本当に、どちらになってもね、そういうこども園を作るということはすごく大切なことで、城下地区の皆さんが、3,000いくらの署名を集められたということもすごいことやと思いますしね。それで、一つはずっと見たところ、今は城下幼稚園があって、城東保育所があって、くりのみ保育園があって、段ちびっこえんがあって、戸原こども園があって、やっぱり城下幼稚園の近くにね、くりのみ保育園、段ちびっこえん、戸原こども園がやっぱり何となくあるような感じで、城東保育所がちょっとこっち側にあるという感じになるので、そうして考えたら地理的に、城東保育所の皆さんも少しでも早く老朽化がひどいので、少しでも早くという気持ちもすごく分かりますしね。だから、ちょっと離れている分、そこにこども園をという考えも一つじゃないかなと思ったりするんですけど。私もそうでしたけど、今とにかくお母さん方は、安全性、利便性もいろいろそういうことも大切ですけど、やはり保育園、幼稚園、こども園の保育とか、それから幼児教育とか、その親に対する保育士さんとか、幼稚園の先生のそういう対応とか、やはりその子どもを中心とした考えが強いので、私としては、どちらにせよ1番はやはり、民営化じゃなくって、公立の方がいいんじゃないかなとすごく思うんですよ。城下幼稚園と城東保育所が一緒になってということならば両方とも、今さっき公立とおっしゃったから、出来たら公立のこども園がいいんじゃないかなと思うんですけど、でもそういうふうにならなかったとしても、やはりその保育教育の中身がすごく大切やから、その辺を考えていただいてというふうに私は思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。他に、それぞれご意見を。</p>
委員	<p>では順番で。私は、城東保育所に賛成という形で、意見を述べさせていただきたいと思います。利便性の点というのが、やっぱりどうしても勤務、通勤をです、ギリギリのところでない時間をさいてです、焦りながらということ、どうしても余裕のない時間帯で子どもを通わせるというようなことで、城下地区だけを見ると、どっちがいいのかっていうのがよく分からんですけれども、もう少し視点を、上に上げてですね宍粟市の全体としての城下のこども園というふうな捉え方するとですね、どうしても29号線の姫路方面に行く方と、県道でたつの方面行く方、僕、交通量のところをちょっと調べたらですね、大体3分の1位がたつの方面、3分の2が姫路方面ということで29号線を使ってらっしゃる。そうなると、全体から見ると位置的にはやっぱり城東保育所の方が通いやすいだろうなというふうに思います。園長先</p>

<p>会長</p>	<p>生にもそのことを聞くとですね、55名の定員でいっぱいなんですが、それ以上に申込みがあると、断っているっていうふうなことを聞いています。やっぱりそういう利便性があるから、断るだけのことになっているんだろうというふうに推察はします。特に河東の方から来られる方が特に利便性が良いということで、その方たちが、例えば、城下幼稚園の方に行かれると、その人達はまた29号線に戻らなあかんので、どうしても城下の町の中を突っ切っていくような形の怖さもあるなというふうに思う部分があります。安全性の面のところですけども安全性の面では、いろんな意味で安全性を確保するというのは、当然これ自治体の方でしっかりと考えていただかなあかんので、どちらになろうがそういうことだろうと思います。ただ今、小学校、中学校がそこにあって時間帯がどうしても重なってくると、通学ですね。その中で、通勤で焦っているお母さんたちが100名そこに集まってくるということを、いかに道路の幅を広くしたりしたとしても、本当にそういう状況のところ集まっていいのかということはやっぱ思うところがあります。どういう方策をしたとしても、その状況は全く変わらないんで、それならですね、その状況は全くない城東保育所の方が、安全性が確保できるっていうふうに思われていると思います。私もそういうふうに思います。それと今の公立云々の話の時に、少子化になるからと事務局がしきりにおっしゃってまして、少子化になるんでどんどん人が少なくなる。その時に、自分でやるって手を挙げるような人が本当にいるのかなというふうに思いますし、やっぱり魅力ある幼児教育っていう形で、宍粟市がやっていただければ、正直私の会社は市外から来ている人間が36%、城下が28%でそれ以外の市内から36%なんですけど、若い未婚のメンバーが市外から結構来てくれています。彼女たち彼らに、魅力ある子育てをやっている宍粟市っていうふうに話もしていきたいですし、そういうことで優秀な人材を確保しようと思えばですね、ここに住みたいなと思ってもらえるだけのこども園の充実をさせていただきたい。そのことでいうと、面積的に今農地の云々の話がちょっと難しそうな話があると思うんですが、今、城下幼稚園は、あの場所で建てるというふうにおっしゃってます。そういう制約のあるところで果たして伸び伸びした環境がそこに本当にできるのかという、ちょっとそういう心配があります。そういう制約の建ぺい率というんですか、当然そういうことがあって建築法があると思うんですけども、満足なそういうものが、今、申し訳ありませんが12人か、それぐらいの定員でやられているその場所に建物を建てて100名が行くというようなことって、本当に環境的に良いのかなというふうに思いますし、そういう意味でいうと、城東保育所の周辺が、そういう規制もありませんので敷地を、言えば、その時その時によって、もっと大きくするっていうことも可能だろうと思いますので、そういう面から城東保育所の方がいいのかなというふうに思います。時間的なことも、非常に切羽詰まっている部分もありますので、できるだけ早くということで、私は城東保育所周辺ということで考えています。以上です。</p> <p>はい。ありがとうございました。</p>
-----------	--

事務局	<p>先ほどのようなご意見の中で、城東保育所が今の子どもが55名で、定員は60名なんですけれども、それで子どもの年齢に応じて定員管理をしております、実際に城東保育所に預けたいと思っても預けられないという事例はあったんだと思うんです。ただ、それは、教育委員会としては、年齢ごとに定員管理をしております、例えば、子ども0歳児だと3人に1人の先生をつけないといけないというような国の基準があって、1歳の場合は子ども6人に1人の先生で、特に年度の途中になってきますと、希望どおりの入所というのは出来なくなります。</p> <p>ただ、第1希望、第2希望、第3希望というようなことを事前に申込みの時にはお聞きしております、その中で入所が可能な園をご紹介した上で、第2希望の園に必ず行っていただく、第3希望の園に行っていただくというようなことで調整をしておりますので、決して申し込んだけど入れないので自宅で、結果的にご家族の判断でご家庭にいらっしゃる子どもさんもいらっしゃるんですけれども、公的な見解の待機児童というのは今現在ないということでご理解いただけたらと思います。</p>
会長	<p>はい。そこの訂正のところを、説明いただきました。他、それぞれ意見を、かなり鮮明に意見を述べられている訳ですけれども、他の委員の皆さん、どうでしょうか。順番に進むという感じだと思うんですけど、保護者の皆さんの方から、できれば順番に出していただく方がいいのかなと思います。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>私は今、家で子どもを見ているんですけれども、やっぱり見ている中で今、ちょこちょこ保育園とか、子育て支援の場にちょっと参加させてもらって、何か所か保育園も見ているんですけれども、やっぱり綺麗などころもあれば、やっぱりちょここの保育園はよく使ってて古いしちょっと園庭も狭いなあとか、そういうことをやっぱり思うんですね。自分の子どもを行かせるとしたら、やっぱり綺麗などころがいいなっていう何か変な思い込みとかもあって、やっぱり新しいところに通わせてあげたいなって思ってた、城下もこういうふうになるっていうふう聞いてたんですけど、私はあと1年子どもを見て、令和5年度から預けたいなと思っているんですけど、それだったら間に合わないんで、戸原こども園も通い慣れた道やしいかなあと思ったり、山崎の方もどうかなっていうふうに、いろんなところに行って環境を見てみようかなって思っている状況で、戸原のこども園に通園しているお母さんとか、あとちょっと入れたいなということで見学に行ったっていうお母さんとか、ちょっと狭いから怖いって言われた道があったんですけど、多分地元の人にはもう本当にスピードを出して川戸が終わって、宇原に行くまでの、多分山沿いの道のことを言っておられると思うんですけど、本当にあそこはみんなよく飛ばして走っているのは私も分かっているし、危ないなっていうのはよくあるんで、そこは一応歩道もあるし、スクールバスも通っているということなんで子どもにはいいのかなと思うんですけど、親が行くのに当たってそこの道だけは多分、みんな友達が言っているのはそこがネックなんかなあと思うんです。城下幼稚園の方も城の子公園に遊びに行ったりと</p>

	<p>かするのに、歩いて城下幼稚園の方までとかも行ったことあるんですけど、やっぱり車ではそういうふうに道を広くしないと駄目なんだというのはよく分かるので、城東保育所の方は、私、中の方まで入ったことがなくて、その大きな通りとちょっと29号線に抜ける抜け道を通ったりするぐらいで、あの辺も狭いのは狭いんですけども、それなりに皆さんがずっと通っておられるから気をつけているっていうのもあると思うんで、私も子どもが通学している時間帯とかは通ったことがなくて全然ちょっと分からないんですけど、新しく建ててやっぱり早くっていうふうに思えば私も城東保育所の方がやっぱり今すごく古くなってるし、いいのかなっていうふうに思います。</p>
<p>会長</p>	<p>はい。次の方をお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>皆さんの意見を聞かせていただいて私もぼんやりですけど、意見が二つあります。一つ目は、やっぱりその、何でしょう。前回は繰り返しましたが、私、よそ者の視点でまたごめんなさい。私はどっちでもいいんです正直。ただ、町の一つの、そして新しいこども園っていう形だと、城下幼稚園の方が、何かすんなり来るかなっていうのが一つで、先ほどもおっしゃっていましたが、やっぱり写真で見せていただいたようなイベントごとに、小中学校との連携ではなくて、やっぱり子どもたち一人一人が年上の、それまたちょっと年上の、みんなの気配を感じながら育つ環境っていうのがこの町で、今までも、これからも必要なことなんじゃないかなってことを思っています。特に、コロナのこともありますけれども不登校っていう形で、いろんな問題がクローズアップされている中で、お兄ちゃんに通っている、あのお姉ちゃんに通っている、町の人に挨拶している、そういうのを小さいうちからずっと見てきて、自分もランドセルを背負ってこの小学校に行くんだ、自分もあのかばんを持って自転車に乗って、いい自転車買ってもらおうとか思いながら、ああやって部活動をするんだっていうのを、本当に全身で、五感で、気配で感じる環境っていうのは城下幼稚園の方がいいのかなと思っています。これが1点目で、それに加えて、早期の整備計画とかやっぱりお金の問題は本当に伝わってきますし、とても分かるんです。ただ1年、2年の差と、ごめんなさいね。お金としては大きいのかもかもしれませんが、この町をこれから支えていく子どもたちのためなら宍粟市頑張ろうぜっていう素人感覚では思っています。なので、この早期の整備と財政負担の抑制がもしクリアできるのであれば、自然な感情として私は、気配を感じながら育てほしいなっていうのが1点目です。で、もしかしたら1点目と関係するのかもしれませんが、2点目の意見としては、人口減は、チャンスだと思うんです。今、少子化と言われる中で、2人、3人そして4人、5人の兄弟構成の家族、たくさんたくさん、本当にいるんです。私、本当にすごいなと思って、それはどうしてなんだろうなと思うと、やっぱり、保育っていう立場から、私たち母親だったり父親だったりをみんながこの町で見守ってくださってるんだっていうのがすごく伝わるので、なので私もこの保育を受けさせたいからこの町に住みたいと今思っています。なので、二つ目の意見としては、先ほど事務局の方もおっしゃいましたが、もし公募して、誰も手を挙</p>

	<p>げなかったら、公立でいきますっておっしゃいましたが、ここチャンスと思っているんで、ぜひそれはもう全国公募をかけていただいて、そうするとね、少子化でお互い競争して、どこかは潰れるんじゃないかって多分心配してくださってると思うんですけど、大丈夫。変な話だけど底上げになると思うんです。なぜじゃ新しい保育園に子どもたちがいっぱい集まるのか。もしかしたらこのエリアに新しい病院が建つかもしれないですよ。そしたら、新しい看護師さんがいっぱい来ると思うんです。優秀な人材を確保するためにも、このこども園だったら、私ここに通わせて、私はこの大きな病院で働くわっていう、優秀な看護師さん、呼び込むチャンスだと私は思っています。意見は以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>はい。ありがとうございます。次の方をお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>私は、やっぱり中学校や小学校との連携はかなりあって、手紙を持って帰ってきたり、「今日、お兄ちゃんたちと遊んだんや。」って言って帰ってきたり、コロナの時だったか、「卒園おめでとう」って言えないから、中学校の窓の方に向かって、子どもたちで何かやったりしたりとか、何かいろいろ交流があって、やっぱり小学校に行きたい、中学校に行きたいって言って、大きくなったらどこに行くのって、あそこに行くんやでとかっていうのもやっぱり言えていたので、そういう面では、城下幼稚園の方に建てるのがいいのかなって思います。早期に建てたりしないといけないし、お金の面もあるので、絶対っていう訳ではないんですけど、幼稚園の先生とも話したりして、やっぱり子どもにとって、親からしたら、利便性とかいろいろありますけど子どもが一番なので、子どもがどう育って一番いい環境で育っていくのが親の願いなので、そうなるやっぱり、いろいろ大変かもしれないですけど、城下幼稚園の方に建ててもらいたいなと思います。以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>はい。ありがとうございます。次の方をお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>お話を伺って、私も城下幼稚園の今の場所で新しいのが建ってくれたらいいなっていうふうに思いました。去年は違う場所で保育をしていただいて、そこでは、今の城下幼稚園みたいに中学生の交流や小学生との交流は年2回ほどだったんです、小学校に上がるから、ちょっと交流しましょうぐらいな感じだったので、大きいお兄さんお姉さんとの交流で、すごい子どもの大きいお兄さんお姉さんへの憧れで、心も成長したんじゃないかなっていうふうに思いました。すごく小中学校との連携はいいことだなと思ったんで、近くがいいなと思いました。あと環境も、周りが田んぼっていうことなんですけど、どこでもそうかもしれないんですけど、自然が近いこと。今までも自然が近かったんですけど、田んぼで水を触ったり、オタマジャクシを取ったりとか、体験させられてなかったんで、いいことだなと思いました。財政負担、早期の整備っていう話なんですけど、城下幼稚園の場所に幼稚園を建てるっていうことになると、仮園舎を建てるから時間がかかってお金がかかって、城東に建てるよりも遅れるから、城東に建てましょうっていうお話っ</p>

	<p>ていうのも聞くんですけど、その頃に城下幼稚園の人数は、そうなんです。複式の園になるほどのニーズになると聞いてます。そしたら、もう今の城東、例えば城東保育所の方で、その建物を整備している間に、場所借りさしてもらって、例えば保育してもらおうとか、違う方法とかがあれば、仮園舎を建てるお金は要らなくなるんじゃないかなとか、そうなる、その仮園舎を建てる期間がなくなるから、早期の整備にもつながるんじゃないかなっていうふうにちょっと、すいません、土地のこととか、時間のこと、お金のこと詳しいこと分かってないんで、勝手な素人考えなんですけど、そういうふうにちょっと思いました。</p>
<p>会長</p>	<p>はい。ありがとうございました。次の方をお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>僕は、城東で建ててもらいたいんですけど、さっきの話で仮園舎とかは多分、城東を使うのは無理だと思う。それは人数が今いるだけでもパンパンなんです、教室。それと古いから。いつまで使えるかが分からんから心配してるんです僕たちは。それで、もうあと2年でもう使えませんかってなった時に、今の50何人をどこで預かってくれるかっていうのがすごい心配だから、やっぱり早く取りあえず早く建ててあの子たちが行ける場所を作ってもらいたいというのがあるので、やっぱり城東、たとえ1年2年でも、その間にあそこが使えなくなった時に困るので、早く考えると、やっぱり城東が一番僕はいいいのかなあと思います。安全なりお金の面も城東の方が、僕的にはお金も安く済むなら、税金で払う、税金上げられるよりは、安く建てられるんだったら安い方がいいし、小学生の子は7時半から8時まで、車の台数が少ないって言っても、そこでやっぱり1件でもそういう事故があると、僕は「この場における君らがあそこで」って言われるのも、やっぱりそれも嫌なんです。子どもがようけ、自転車も通るし、歩きも通りようところにわざわざ建てるから事故が起きるやないか、起きたやないかって言われるのもやっぱり嫌やなと思うし、というところがあって、やっぱり城東でとりあえず、早くできればなと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>はい。ありがとうございました。次の方はどうでしょうか。どうぞ。</p>
<p>委員</p>	<p>僕も城東保育所の方で、理由として早い安い安全というところがすごく大きいのかなと思えます。もちろん早ければいい、安ければいいとはもちろん思っていないのであれなんですけれども、これはまちづくりの一つというふうに、事務局の方々も以前おっしゃっておられたので、いざ高くていいものが出来ました、子どものために高くていいものが出来ました。それはいいと思うんですけど、結局それって、子どもたちも、そのお金を返していくことになると思うんですよね。それこそ今、僕たちの世代で、宍粟市で働いてる子って結構限られていると思ってます。僕の同世代の子も宍粟市外に、僕自身もそうなんですけど、宍粟から外に仕事に行くっていうような状況で、少子化って言われているところも分かるところはあります。働くところがない、大学も近くには余りないとかっていう中で、そしたら残された子どもた</p>

	<p>ち、それも少なく、恐らく外に出られる子どもさんたちが多く中で、残された子どもたちがその負担を大きく背負うと思った時に、やっぱり自分の子どもがそうなったら、ちょっと不便だなと思ってしまうところがあるので、まして子どもが大きくなった時に、おまえたのためにいいの建てちゃったんやと言うても、いやそなん知らんよって言われそうな気もしますし、なので、もちろんいいものが建つのが大前提だとは思いますが、安全であって、それこそ子どもたちに可能な限り負担は残さない方が僕はいいいのかなっていうところと、あとは通学路の話も先ほどあったんですけど、保育所の登園時間が8時から8時半が多いっていうところであったんですけど、城下幼稚園の方に建てた際に、土曜日の運営があると思うんです。中学校の部活、隣の城の子公園ですかね、夏とかだと朝早く遊びに来るご家族連れの方とかもおられると思うので、そこでローカルルールをもし作ったとしても、道を広げたとしても、どうしても危険というのは伴うんじゃないかなということもあって僕自身は城東保育所の方をと思っております。以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>はい。ありがとうございました。次の方をお願いします。</p>
	<p>私の住まいも城下地区ではないので、その周辺、城東保育所と城下幼稚園の周辺の様子はちょっと詳しくは、分からないんですけども、まず、どっちがいいと考えた時に思ったのが、城下幼稚園でした。それは他の委員さんからも意見があったんですけども、周囲周辺が開けていて見やすくって、近くに城の子公園や国見の山があって、散歩にも行きやすいなあと思いました。今の保育園もそうなんですけれども、夏休み中であれば小学校のプールを貸していただいて利用もしているので、そういったことに、園だけの活動じゃなくて外の活動をするってなったときに近い方が動きやすいのかなと思いました。隣の建物にお兄さんやお姉さんが、他のたくさんの方の声がしたり、音がするっていうのは、いいなあと思いましたし、親として、日頃つながりがあるっていうのは小学校とか中学校に進級するときに、少しでも自分の子どもを知っている上級生とかがいたら安心だっていう思いがあるので、私は城下幼稚園を候補に思っています。以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>はい。ありがとうございました。次の方をお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>今、最初の方からもありましたけれども、このメンバーの中で一定の方向性を出すっていうことの重さを何かひしひしと感じるなあという気はします。そんな中で、この間、資料もいただいて、説明も聞きまして、自分なりに考えてみたんですが、現時点では、どちらにしても場所的な立地の優位性ということが、極端にこっちがいい、あっちが劣るというような見方は出来ないかなあと。例えば、幼小中の連携の話も出てきましたが、この協議事項のアンケートを取られた時の項目の中に位置付けられているので、議題として上がれば、皆さん言われることはすごく納得できるんです。そうだなと。ただ、保育、あるいは就学前教育をひっくるめて、それから小学校教育、中学校教育、この全体の時間数の中で見ると絶対的な条件ではないかなと。克</p>

<p>会長</p>	<p>服する術もあるでしょうし、現に幼小中が同一地区に立地していても、そういう効果がうまく利用出来てない。極端なことを言えば、そういう校区もあるんじゃないかな。だから、克服する術は、結論が出れば方策がやっぱりあるんじゃないかなということを思います。それから、幼稚園には何回かお邪魔しております。城東保育所については、城下には住んでいるんですが、外から見て通ることは度々あるんですけども、残念ながら、この間ありませんでした。教育委員会の説明の中にも、老朽化の話も出ておりましたので、この間ちょっと個人的にお邪魔して見せてもらったんですが、正直びっくりしました。特に、雨漏りですかね。何とも言えないだけではないし、僕が特に気になったのは、食事を作ってくさっている調理室、その隣がトイレになっているんですが、大人用が一つ。職員だけでも、多分20人ぐらいの先生方が居られるのかなと思うんですけども、あそこで調理をされて、衛生面のことなんか、多分もう毎日毎日ドキドキしながら、特に暑い時期には、大変なご苦勞をかけているんだらうなあ、あの様子から園庭の方を見ますと、狭い広場というか、遊び場というか、そこにいろんな形で遊具の提供なり、そういうものがもらえるよというようなことが繰り返しあったのかなと思うんですが、意図的にではないし、もう限られたスペースに取りあえず置かなあかん。置きましたっていうような感じで、これは城東の保護者の皆さん、あるいは、そういうことをよくご存じの方はもうできるだけ早く新しいものという気持ちはすごくよく分かります。それで、1点ちょっと事務局の確認の意味で質問があるんですが、城下幼稚園ということに方向性が決まった場合、新しい園舎はリフォームの話がありましたですね。仮に、民間の希望者があったとした時に、リフォームぐらいでということはあるんですね。そうであれば、今度、城下にこども園が出来た時に、写真なんか見ると、あれはどこですか、戸原こども園ですか。これをイメージしといて、リフォームということになった時にね、うん？という、素朴なこんな話やっみたいなのは、否定出来ないかなあと。ただ民間のどこかの保育園が応募されて整備した場合には、やっぱり経営ということの視点で考えれば、それはやっぱりそういう判断をされたら、市としても尊重しないといけないでしょうし、ということも考えれば、一抹というか、大きなクエッションマークとして僕の中には、現時点ではあるかなあと。今こう拝見してますと、幼稚園なり、保育所の保護者の皆さんの意見は、そうだろうなというような感じはいろいろ、自分あるいは自分たちが、例えばちびっこえんやったら、そこが、利便性がいいのと言う保護者が通っておられるから、それを代弁するところという意見はもう率直なところで、むしろ分かりやすく良かったかなと思うのですが、まだ次回もありますので、もうちょっとそこをみんなで乗り越えて、城下地区に二つできるんじゃないので、一つという中で、皆さんの保護者の要望あるいは地域の方としても、折角できるんだったらという思いは強くあると思うんで、歩み寄ってその中で、気持ちよくこういう施設を造ってもらうという方向に向いて行きたいなあというのが今の正直な気持ちです。</p> <p>はい。ありがとうございました。事務局。</p>
-----------	---

事務局	<p>先ほどリフォームのことについてちょっと発言がございまして、私どもの前回から今までの説明の中には全くリフォームの話はしておりませんでしたのでちょっと補足をさせていただきます。前提としまして、仮園舎はなしで他の園を使ったらっていうこともございました。仮に今、仮借園舎でなくても、3月に現在の園児が卒園した後、園舎を取壊しあるいはリフォームするということになりますと、そのことが終わってから増築なり新築なりってということが発生しますので、現時点では、城下幼稚園の場所で建設をする場合には、城東保育所と比較をして、1年工期が長くかかるというふうに考えています。その1番の大きな理由は、半年で終わったとしても、10月に開園っていうのはちょっと、学校施設ですので、やはり4月1日に開園をして、新しく子どもたちを受け入れるっていうことに、教育委員会としてはこだわりたいという思いがあって、仮園舎というところは、今の在園児に配慮して仮園舎、教育委員会ですから、そういうふうに計画をしておりますし、もし仮園舎が要らなくなったとしても、1年かかるというところをご理解いただけたらと思います。その前提で、先ほどありましたリフォームについては、城下幼稚園の園舎は、平成12年に建築をした建物でありまして、まだ、耐用年数的には少し活用ができる部分があるのかなというふうに思っております、今後の予定なんですけれども、もし城下幼稚園ということが候補地として決まりましたら、運営法人を一斉に募集する中で、運営法人さんの意向を確認する中で、教育委員会との話の中で取壊しをして全て新築にするのか、一部分今の園舎をリフォームして、新しいこども園の中に取り込むのかについては、現時点では決めずに、運営主体の方との協議の中で、決断をしていきたいなというふうに思っております。</p>
会長	<p>今の園舎の形態について、運営については、もう一度、それぞれ認識していただきたいと思います。あと1名、副会長の意見が残っていますので、それを聞かせていただきたいと思います。</p>
副会長	<p>すいません失礼します。皆さんのお話を聞いていて、僕自身、今、住んでいるところが城下校区ではないので、はっきり言うとどちらに決まってもというところは、自分自身はあるのですが、保護者の利便性っていうところで、いろんな面で利便性っていうのはあると思うんですけど、城下小学校が今、6年生が1クラスで4年生が1クラスで、他全部2クラスなんですけれども、今の6年生が卒業すると、来年またクラスが一つ増えるんじゃないかなというふうになってます。</p> <p>これから先、宍粟市の中でも、かなり大きな小学校で、子どもたちも校区の中では増え、少子化の中でも校区としては増えていくってところもあって、先ほど病院の話も出たりとかで、人が増えるんじゃないかなという話も出ているのに、やっぱりどこで増えていくのかなってところを考えると、今分譲地とかがたくさん出ているのが、千本屋だったり鶴木だったりとかその辺りが増えていくんだったら、自分自身、住んでいるところと近い方がいいのかなと思って城下幼稚園がいいのかなと思ったり。ただ、私は5年前に兵庫県の方に帰ってきたんですけど、自分の息子が1年間だけ城東</p>

	<p>保育所で長男がお世話になりまして、その時に素直な意見として、狭いっていうのと古いっていうのをすごく感じて、いろいろあってちょっと1年間で城東保育所から代わらせてもらって、くりのみ保育園で卒園してその下の子たちもくりのみ保育園で今お世話になっているんですけど、やっぱりそれを思うと、早期の整備というのは、かなり保護者の方からしたら重要などころではあるのかなと思ったんですけども、仮園舎の話が、先ほど出たんですけど、城下幼稚園の方にした時に、仮園舎を建ててそちらで保育という話が、そうなった時に仮園舎の規模ってというのは城下幼稚園だけの仮園舎になるのか、それとも城東保育所の子たちもいずれ一緒になるのであれば、仮園舎が、一緒の城東保育所も、何年間かで老朽化っていうのもあるんだしたら、どういう規模の仮園舎になるのかなと。城東保育所があと数年とかという話が出ているのであれば、もうそのまま仮園舎に城東保育所、城下幼稚園の子たちみんな入って、新しい園舎が完成した時にそのまま移動すれば、城東保育所も長いこと、ちょっと言い方悪いですけど、古い園舎で保育をする必要もないのかなというふうに考えたりしました。小中学校との連携については、やっぱり現実的には、城下幼稚園の方が圧倒的に多いってのが、僕自身感じています。やっぱり行事で交流をしましょうってなった時には、新1年生、来年度1年生で入ってくる子たちは、いろんな保育園から結局集まってくるので、年間行事としての交流の回数としては、それほど変わらないのかなというふうに、新1年生と1年生の交流とか、6年生との交流とかってところがあるんですけど、2年生だったらまち探検、3年生でも社会のまち探検とかで、やっぱり城下幼稚園の周りを歩いたりとかしたときに、城下幼稚園の子たちと交流、「お～い」とかって手を振ったりとか、割と日常的な中での交流ってところが、城下幼稚園の子たちとは、やっぱり近い分多いので、その交流ってというのがどこまでの、連携って言ってしまうと、すごく大きなものになるので、実際のところ、それこそ指導要領だったり、保育要領とか、そんなので決まっている分は、どっちになろうと思うので、回数としてはそんなに変わらないのかなと。やっぱり近い方が、ただ近い方が日常生活の中での交流という面では、圧倒的に数としては城下幼稚園の方に建った方が多いんじゃないかなというふうに思っています。その辺りです。ありがとうございます。</p>
<p>会長</p>	<p>はい。ありがとうございました。</p>
<p>事務局</p>	<p>現地で私どもが考えております仮園舎は、やはり今の城下幼稚園の園児さんに配慮したことの範囲で考えております。それはやっぱり予算のことであったり、それからその仮園舎を建てる土地ですね。用地が必要になってきますので、先ほどご提案だと思いうんですけども、城東保育所の子どもさんまで対象にした仮園舎ということになると、例えば給食室も作らないと駄目ですし、幼稚園にはないものが保育所には機能としてありますので、この場で予算のことはあまり言いたくないんですけども、お金のことがあって、その部分については、今現在、これまでのところでは、1年早く仮園舎で統合という形のことを考えていないというところでご理解いただけたらと思い</p>

	ます。
会長	ちょうど時間が9時目前に迫っております。次回に答えてもらうことで、どうぞ。
委員	このこども園が、もし城下幼稚園のところに建ったとした話なんですけど、帰り4時から6時半とか、お迎えの時間が、その時って、小学生、中学生はどれぐらい通っているのかっていうのと、チャイムがどれくらい聞こえています？お昼寝から起きるぐらいの音が鳴っているのか、鳴っていないのか。
会長	どうですか。今の質問、次回、繰越しでもよろしいか。時間的に申し訳ないけれどそれまでに答える準備をしていただくということで、委員の皆さんにはそれぞれ一通り意見を出していただいて、両候補地とも非常に伯仲した意見表明が出ております。まず9時がほとんど来ておりますので、本日はこれで協議を終了して、ここまで出していただいたご意見を、改めて持ち帰っていただいて、いま1度考えていただいたり、まとめていただいたりして、次回3回目、ほぼ旗幟鮮明にされているわけですけれども、最終的に候補地を絞っていきたいと思いますので、ご了解いただきたいと思います。よろしいでしょうか。
会 場	(委員了承)
会長	それでは、議題の5番.その他について、事務局の方からお願いします。
事務局	それでは5番のその他の次回会議の日程について、事務局から説明させていただきます。
事務局	次回の第3回協議会ですが、次第にも書いておりますが、12月22日水曜日。時間については、本日と同じ午後7時から、この場所で開催をさせていただきます。よろしくをお願いします。
会長	はい。それでは委員の皆さま。12月22日午後7時よりよろしくお願ひいたします。事務局はその他ありますか。
事務局	はい。次回の協議会の中身についてなんですけれども、本日までの2回の協議会において教育委員会の考えについては一通りの概略を説明させていただきました。それで、最初に事務局の当初の案として、ご説明をさせていただいたのが、年内3回の協議会の開催というのを予定しておりました。 つきましては、今回は3回目の協議会として、この場での意見のまとめに入っていただくというような会になるかなというふうを考えておりますが、今日の雰囲気ですと、それぞれ委員の皆さんは、個人的なお考えは、大体、こちらがという思いは聞かせていただきました。

<p>会長</p>	<p>それで、会として、これがまとめられるかどうかということになってくるかなというふうに思うんですけども、次回までに、もう一度、よくその辺り、自分なりのお考えをまとめておいていただいて、できれば、次、3回目で、皆さん、ご相談していただけたらありがたいなというふうに思っております。事務局からは以上となります。</p> <p>はい。今日、最後に1名、欠席という形で終わったんですけども、事務局の方で、ご連絡なりしていただいて今日の協議の様子なんか、また議事録でお送りいただくんじゃないかと思うんですけど、ぜひ全員参加の中で第3回目をお願いできればと思います。それぞれ、予定をクリアしていただいて、12月22日7時からお集まりいただきたいと思います。</p> <p>それでは、本日の議事全て終了となります。少し時間が過ぎました。申し訳ありません。ご協力ありがとうございました。</p> <p>最後に副会長より閉会の挨拶をお願いします。</p>
<p>副会長</p>	<p>失礼します。先ほど喋ったんですけど、まず7時からの開会だったんですが、私の方は少し遅れてしまって、皆様にはご迷惑をおかけしまして申し訳ありませんでした。今日の協議の中では、それぞれの委員の方の意見が言えたので、すごくいい会になったのではないかなあと考えています。</p> <p>ただ、先ほどの協議の中で「君らがこんなこと決めたからこんなことになったんや」みたいな、後々、何かそういう思いが残ることがないように、次回の会議の方も、進めていけたらなというふうに思っています。本日はお疲れさまでした。</p> <p>閉会</p>